



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 山梨中央銀行
代表者名 代表取締役頭取 古屋 賀章
(コード番号：8360 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員経営企画部長 代永 茂樹
(TEL. 055-233-2111)

業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当・増配）の決定及び 期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2025 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を下記の通り行うことを決議するとともに、期末配当予想についても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正内容

2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,400	8,400	274 円 73 銭
今回修正予想 (B)	12,900	9,000	293 円 70 銭
増減額 (B－A)	500	600	—
増減率 (%)	4.0	7.1	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	10,620	7,669	251 円 43 銭

2026 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,900	8,200	268 円 19 銭
今回修正予想 (B)	12,200	8,800	287 円 17 銭
増減額 (B－A)	300	600	—
増減率 (%)	2.5	7.3	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	9,785	7,199	236 円 02 銭

(2) 修正の理由

[連結] 主に個別業績によるものです。

[個別] 貸出金利息及び有価証券利息配当金が当初予想を上回ることを主因に、2026 年 3 月期通期の業績予想を上方修正するものです。

2. 剰余金の配当（中間配当）の決定及び期末配当予想の修正について

（1） 剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決定額	前回予想 (2025 年 5 月 13 日公表)	前期実績 (2025 年 3 月期中間)
基準日	2025 年 9 月 30 日	同左	2024 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	59 円	55 円	32 円
配当金総額	1,842 百万円	—	998 百万円
効力発生日	2025 年 12 月 3 日	—	2024 年 12 月 4 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2） 期末配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想	55 円	55 円	110 円
今回修正予想	—	59 円	118 円
当期実績	59 円	—	—
前期実績 (2025 年 3 月期)	32 円	44 円	76 円

（3） 修正の理由

2026 年 3 月期の通期業績予想が前回予想を上回る見込みとなったことから、株主還元方針に基づき、中間配当につきまして前回予想から 1 株当たり 4 円増配し、59 円といたしました。また、期末配当につきましても、1 株当たり 4 円増配し、59 円に修正いたします。

これにより、2026 年 3 月期の年間配当金（予想）は、前期に比べ 42 円増配の 1 株当たり 118 円となり、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向は 40%となる見込みです。

ご参考

株主還元方針

銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を維持するため適正な内部留保の充実に努めるとともに、安定的な配当を継続実施することを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向 40%を目安とする。また、自己株式取得については柔軟かつ機動的に実施する。

※本資料等に記載されている予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上